

# 国連主導の技術ニーズ評価(TNA)の分析と 低炭素技術移転に向けた課題と提言

Can United Nations lead low-carbon technology transfer? Analysis of the technology needs assessment (TNA) and recommendations for improvements

環境経済・政策学会

2015年9月19日午前(1)気候変動政策

(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)  
気候変動とエネルギー領域

吉野まどか 郁宇青  
Madoka Yoshino and Yu Yuqing

## 目次

1. TNAの課題に関する分析調査の背景
  - 技術ニーズ評価(TNA)とは
2. 調査方法
3. 調査結果
  - TNAの実施方法(方法論の理解度に関する課題)
  - TNAの実施体制(技術選定プロセスに関する課題)
  - TNA実施後の対応(結果の周知、技術移転の実施に関する課題)
4. 結論:TNAの改善案

# 1.背景：技術ニーズ評価（TNA）とは

- 途上国において、気候変動対策（緩和、適応）に資する技術移転を進めるためのプロセス。
- 地球環境ファシリティ（GEF）の資金により国連環境計画（UNEP）が主導して実施。
- 2009年～2013年に36カ国にて実施。
- 各国の特定した優先分野：エネルギー、交通、農業、水
- 2014年末～2016年に26カ国で実施予定。



## 2. TNAの課題に関する分析調査：方法

**目的：**TNAプロセスの課題の特定と改善策の検討  
→途上国における技術移転の促進

- **方法：**TNA関係者への質問紙インタビュー調査
- **期間：**2014年5月～12月（6月～8月に各国訪問）
- **対象：**アジア8カ国のTNA関係者
- **対象国：**  
バングラデシュ、カンボジア、モンゴル、インドネシア、ネパール、スリランカ、タイ、ベトナム

## 2. TNAの課題に関する分析調査：方法

### ▶ 主な調査項目：

#### TNA実施方法

- 事前トレーニング、方法論の理解

#### TNAの実施体制

- 協議プロセスの実施状況、参加者の妥当性、技術選定に関する参加者の評価

#### TNA実施後の対応

- 技術行動計画(TAP)策定状況、TAPの実施、結果の周知、CTCNとの連携

#### TNAプロセスの課題、改善点の検討

5

## 3. 調査結果：TNAの実施方法

課題：方法論の理解不足

TNA実施期間の長さ

→ 特定された技術と最新ニーズとのずれ

- TNAトレーニング内容の周知不足 → TNAチーム全体の理解低下
- TNAガイドの利用しにくさ → 簡便性△、国別事情△  
→ TNA実施期間の長期化

改善案：

- ✓ 技術リストの提示
- ✓ TNAガイドブックの改善
- ✓ TNAチーム向けの国内トレーニングの実施

### 3.調査結果：TNAの実施体制

課題：参加者の流動性

資金担当者、民間セクターの巻き込み不足  
→技術情報不足、技術ニーズ特定の偏り

- 参加者の変動→プロセス途中の方針変更、説明時間増
- 民間セクターの不参加→技術情報不足
- 資金担当者の不参加→TNA後の実施時の資金源不足

改善案：

TNA後の対応の明示（インセンティブ付与）による

- ✓ 初期段階からの民間、資金担当（金融含む）、開発関連省庁の巻き込み
- ✓ TNAプロセスへの一貫した参加の奨励

### 3.調査結果：TNA実施後の対応

課題：TNA、TAP策定結果の周知不足、資金不足  
→技術移転、市場へのシグナルにつながらず

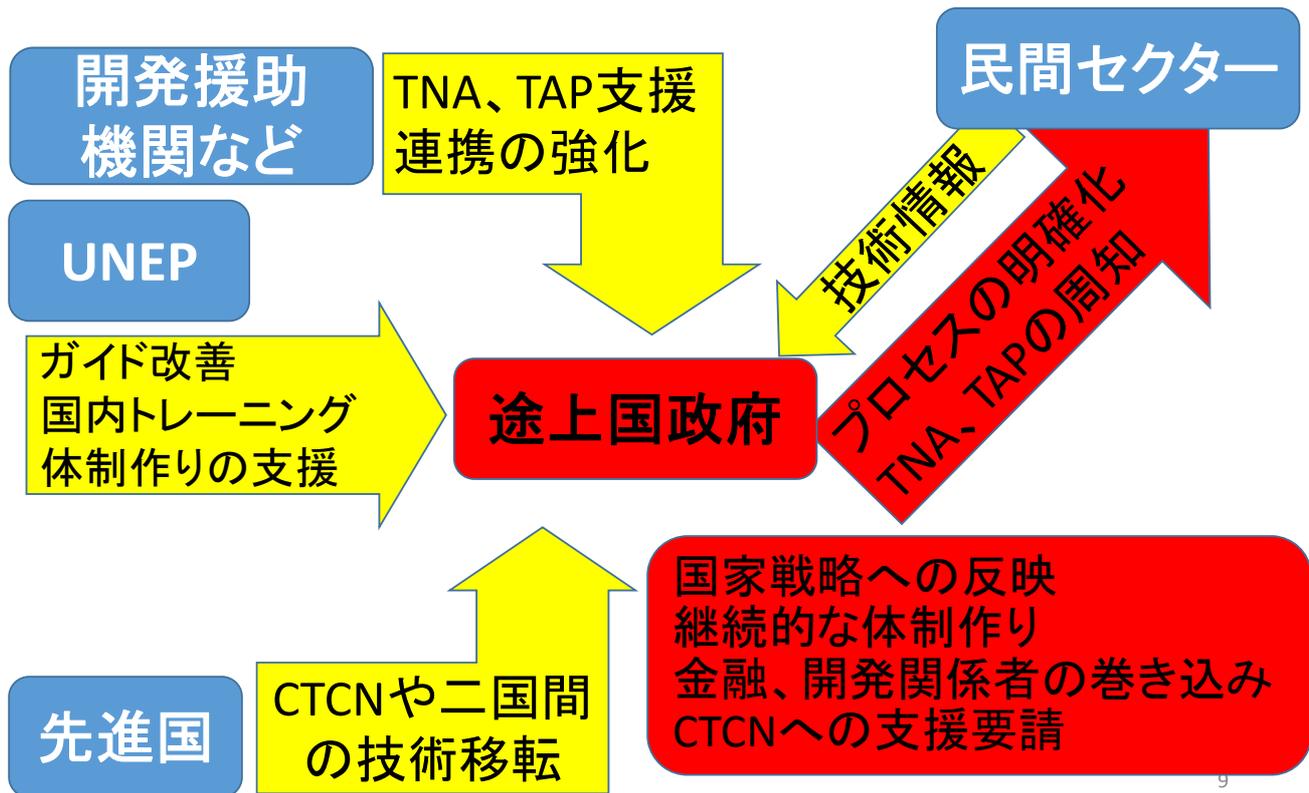
- TNA→8カ国とも緩和、適応レポートを作成
- TAP→策定するも、国内周知不足
- 民間セクターや開発担当者のTNA活用につながらず

改善案：

- ✓ 関係者へのTNA、TAP結果の周知
- ✓ 国家戦略へのTAPの反映
- ✓ 開発援助機関などとの連携促進
- ✓ TAP活用によるCTCNへの技術移転要請の作成

# 4.結論：TNAの課題と改善案

## 途上国における技術移転促進に向けて・・・



**IGES**



ご清聴ありがとうございました

[m-yoshino@iges.or.jp](mailto:m-yoshino@iges.or.jp);

[yu@iges.or.jp](mailto:yu@iges.or.jp)

<http://www.iges.or.jp/>

## 参考：気候技術センター・ネットワーク(CTCN)

- 2011年UNFCCC COP17にて発足。
- 事務局コペンハーゲン
  - UNEP・UNIDOを中心とした、13機関のコンソーシアムと連携(→センター)
  - 他機関も登録すれば連携可能(→ネットワーク)。現在世界から61機関が登録。
  - 各国窓口は現在132(→国家指定機関(NDE))

